

鉱工業指数参考図表集 (2025 年 3 月 速 報)

2025 年 4 月 30 日

経済解析室

URL : <https://www.meti.go.jp/statistics/tyo/iip/result-1.html>

2025年3月の鉱工業指数(速報)各指数の状況

生産・出荷・在庫・在庫率指数

月次	生 産	出 荷	在 庫	在 庫 率
季調済指数	101.1	98.7	101.8	107.4
前月比	-1.1%	-2.8%	0.9%	4.5%
指数水準	2025. 1 99. 9以来 ①2020. 5 87. 6 ②2020. 6 89. 4 ③2020. 4 95. 2	2025. 1 98. 5以来 ①2020. 5 87. 2 ②2020. 6 90. 7 ③2020. 4 93. 7	2025. 1 102. 6以来 I 2023. 7 105. 7 II 2023. 5, 6 105. 5 III 2020. 1 105. 0	2024. 11 108. 0以来 I 2020. 5 119. 1 II 2020. 6 111. 5 III 2020. 4 110. 7
前月比の動き	2か月ぶり－ (2025.1以来)	2か月ぶり－ (2025.1以来)	2か月ぶり＋ (2025.1以来)	4か月ぶり＋ (2024.11以来)
前月比幅	2025. 1 -1. 1%以来 (超) 2024. 11 -1. 7%以来 ①2020. 4 -10. 0% ②2020. 5 -8. 0% ③2024. 1 -7. 0%	2024. 6 -3. 2%以来 ①2020. 4 -10. 9% ②2024. 1 -7. 6% ③2020. 5 -6. 9%	2025. 1 1. 5%以来 I 2021. 9 2. 1% II 2022. 2 1. 8% III 2021. 11, 2022. 9 1. 7%	2024. 8 4. 6%以来 I 2020. 4 13. 4% II 2020. 3 10. 2% III 2020. 5 7. 6%
前年同月比(原指数)	-0.3%(109.7)	-1.3%(108.7)	-1.0%(98.6)	0.7%(97.5)
前年同月比の動き	3か月ぶり－ (2024.12以来)	3か月ぶり－ (2024.12以来)	2か月連続－ (2025.2～当月)	8か月連続＋ (2024.8～当月)
前年同月比幅	2024. 12 -2. 2%以来 ①2020. 5 -25. 9% ②2020. 6 -18. 1% ③2020. 7 -16. 2%	2024. 12 -3. 1%以来 ①2020. 5 -27. 4% ②2020. 4 -17. 0% ③2020. 6 -16. 8%	2025. 2 -1. 4%以来 ①2021. 1 -10. 0% ②2021. 4 -9. 9% ③2021. 3 -9. 7%	2025. 1 1. 0%以来 I 2020. 5 38. 5% II 2020. 4 25. 6% III 2020. 6 21. 5%

1) I～Ⅲは2020年基準における最大値から上位3位まで、①～③は最小値から下位3位までの数値

2025年3月の鉱工業生産の基調判断

「生産は一進一退」

基調判断の推移

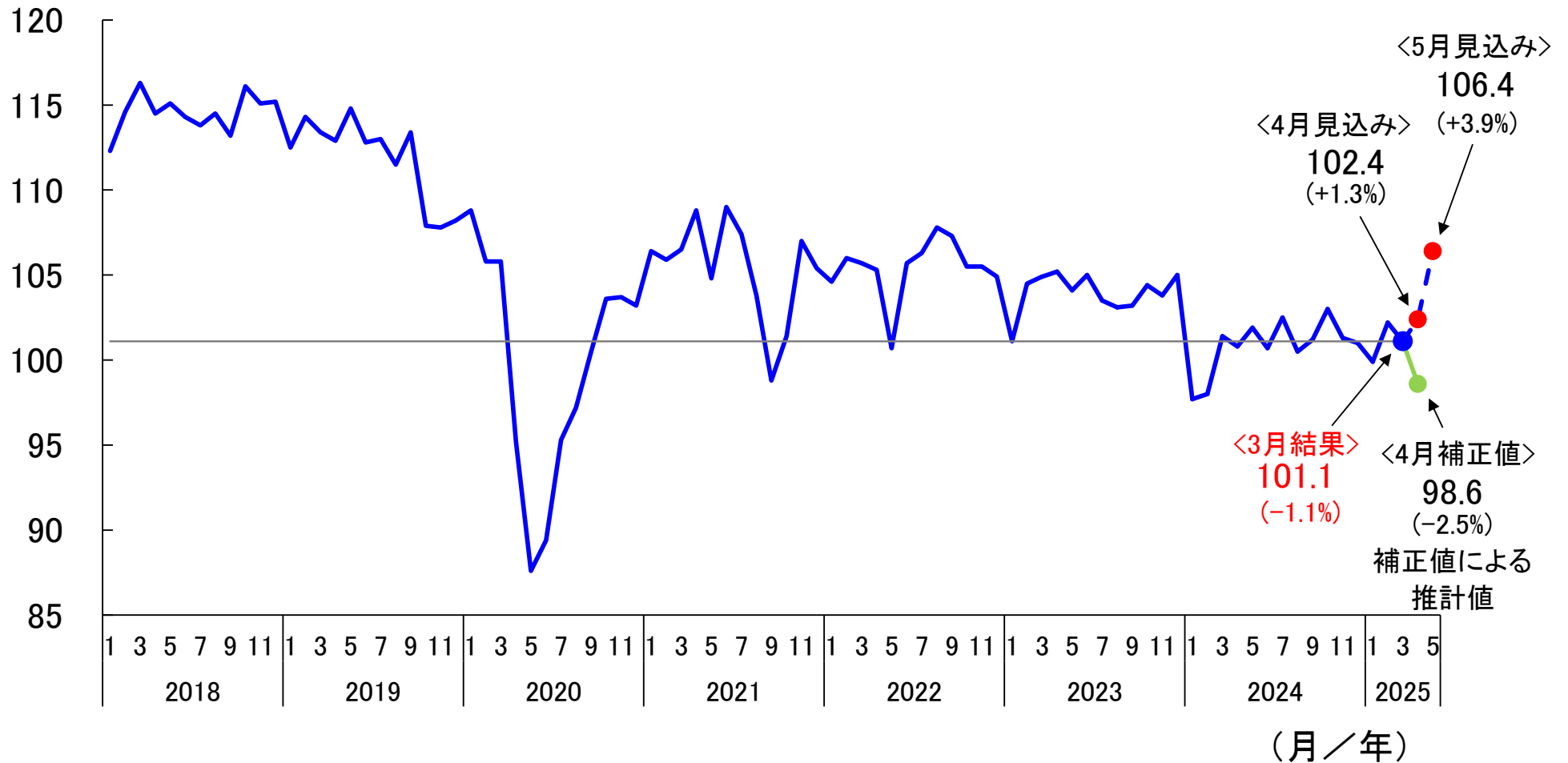
2020年6月	(↑)	「生産は下げ止まり、持ち直しの動き」
2020年7月	(→)	「生産は持ち直しの動き」
2020年8月～2021年7月	(↑)	「生産は持ち直している」
2021年8月～10月	(↓)	「生産は足踏みをしている」
2021年11月～2022年3月	(↑)	「生産は持ち直しの動きがみられる」
2022年4月	(↓)	「生産は足踏みをしている」
2022年5月	(↓)	「生産は弱含み」
2022年6月～7月	(↑)	「生産は一進一退」
2022年8月～9月	(↑)	「生産は緩やかな持ち直しの動き」
2022年10月	(↓)	「生産は緩やかに持ち直しているものの、一部に弱さがみられる」
2022年11月～2023年2月	(↓)	「生産は弱含み」
2023年3月～6月	(↑)	「生産は緩やかな持ち直しの動き」
2023年7月～12月	(↓)	「生産は一進一退」
2024年1月～6月	(↓)	「生産は一進一退ながら弱含み」
2024年7月～	(↑)	「生産は一進一退」

(注) 「↑」前回の基調判断から上方修正、「↓」前回の基調判断から下方修正、「→」表現変更

鋳工業生産指数の動向と先行き

・ 2025年3月の鋳工業生産指数は、101.1(前月比-1.1%)と2か月ぶりの低下。

(2020年=100、季節調整済)



(注) 鋳工業指数(IIP)とは、月々の鋳工業の生産、出荷、在庫等を基準年(現在は、2020年)の12か月平均=100として指数化したもので、事業所の生産活動、製品の需給動向など

鋳工業全体の動きを示す代表的な指標

(注) 補正値は、製造工業生産予測指数がもつ傾向的な部分を修正し、実際の鋳工業指数の動きをより適切に把握できるように試算したもの

(注) 見込みの前月比は、製造工業生産予測指数の前月比を記載している

2025年3月の鉱工業生産指数を大きく動かした品目(業種別)

・ 2025年3月の鉱工業生産指数は、101.1(前月比-1.1%)と2か月ぶりの低下。

		業種・品目名	前月比	寄与度
【低下方向に寄与】 鉱工業生産を低下方向へ 引っ張った3業種の中で 低下への影響度が大きい 2品目	1位の業種	自動車工業	-5.9%	-0.81pt
	品目	普通乗用車	-4.1%	-0.24pt
		小型乗用車	-23.2%	-0.19pt
	2位の業種	電気・情報通信機械工業	-4.4%	-0.38pt
	品目	開閉制御装置	-12.7%	-0.10pt
		超音波応用装置	-26.4%	-0.07pt
	3位の業種	汎用・業務用機械工業	-5.0%	-0.37pt
	品目	コンベヤ	-51.8%	-0.20pt
		汎用内燃機関	-6.9%	-0.03pt
【上昇方向に寄与】 鉱工業生産を上昇方向へ 引っ張った3業種の中で 上昇への影響度が大きい 2品目	1位の業種	生産用機械工業	6.9%	0.59pt
	品目	半導体製造装置	8.4%	0.28pt
		フラットパネル・ディスプレイ製造装置	44.5%	0.14pt
	2位の業種	輸送機械工業(除. 自動車工業)	7.6%	0.20pt
	品目	航空機用機体部品	12.7%	0.04pt
		航空機用発動機部品	2.9%	0.03pt
	3位の業種	無機・有機化学工業	4.2%	0.18pt
	品目	合成ゴム	21.7%	0.08pt
		ポリプロピレン	13.9%	0.04pt

※秘匿の関係で寄与度を表記できない品目を除いた中で、影響度の大きい品目を記載している。

寄与度： 生産全体の変動に対して影響を及ぼした、各品目の影響の度合い。

季節調整の関係で、上昇業種と低下業種の合計は、全体の動きと一致しないことがある。

2025年3月の鉱工業生産指数を大きく動かした品目(全体・財別)

<全体>

		品目名	前月比	寄与度
鉱工業生産を 低下方向に 引っ張った3品目	1位	普通乗用車	-4.1%	-0.24%pt
	2位	コンベヤ	-51.8%	-0.20%pt
	3位	小型乗用車	-23.2%	-0.19%pt
鉱工業生産を 上昇方向に 引っ張った3品目	1位	半導体製造装置	8.4%	0.28%pt
	2位	モス型 I C (メモリ)	41.1%	0.25%pt
	3位	フラットパネル・ディスプレイ製造装置	44.5%	0.14%pt

※秘匿の関係で寄与度を表記できない品目を除いた中で、影響度の大きい品目を記載している。

<財別＝用途別>

	解説	品目名	前月比	寄与度
耐久消費財	テレビや電気冷蔵庫など 家計で購入される製品	耐久消費財	-6.5%	-0.49%pt
		小型乗用車	-23.2%	-0.19%pt
		普通乗用車	-4.1%	-0.17%pt
生産財	原材料として投入される製品	生産財	-0.5%	-0.24%pt
		駆動伝導・操縦装置部品	-9.6%	-0.17%pt
		自動車用エンジン	-11.7%	-0.14%pt
非耐久消費財	食料品や衣料品など 家計で購入される製品	非耐久消費財	-1.1%	-0.21%pt
		乳液・化粧水類	-7.9%	-0.08%pt
		頭髮用化粧品	-10.6%	-0.06%pt
資本財 (除. 輸送機械)	クレーンや金属工作機械など 設備投資に向けられる製品	資本財(除. 輸送機械)	-0.2%	-0.03%pt
		コンベヤ	-51.8%	-0.20%pt
		開閉制御装置	-12.7%	-0.10%pt
建設財	鉄骨やセメントなど 建設投資に向けられる製品	建設財	0.6%	0.03%pt
		セメント	9.0%	0.04%pt
		ガス温水給湯暖房機・風呂がま	10.9%	0.02%pt

※秘匿の関係で寄与度を表記できない品目を除いた中で、影響度の大きい品目を記載している。

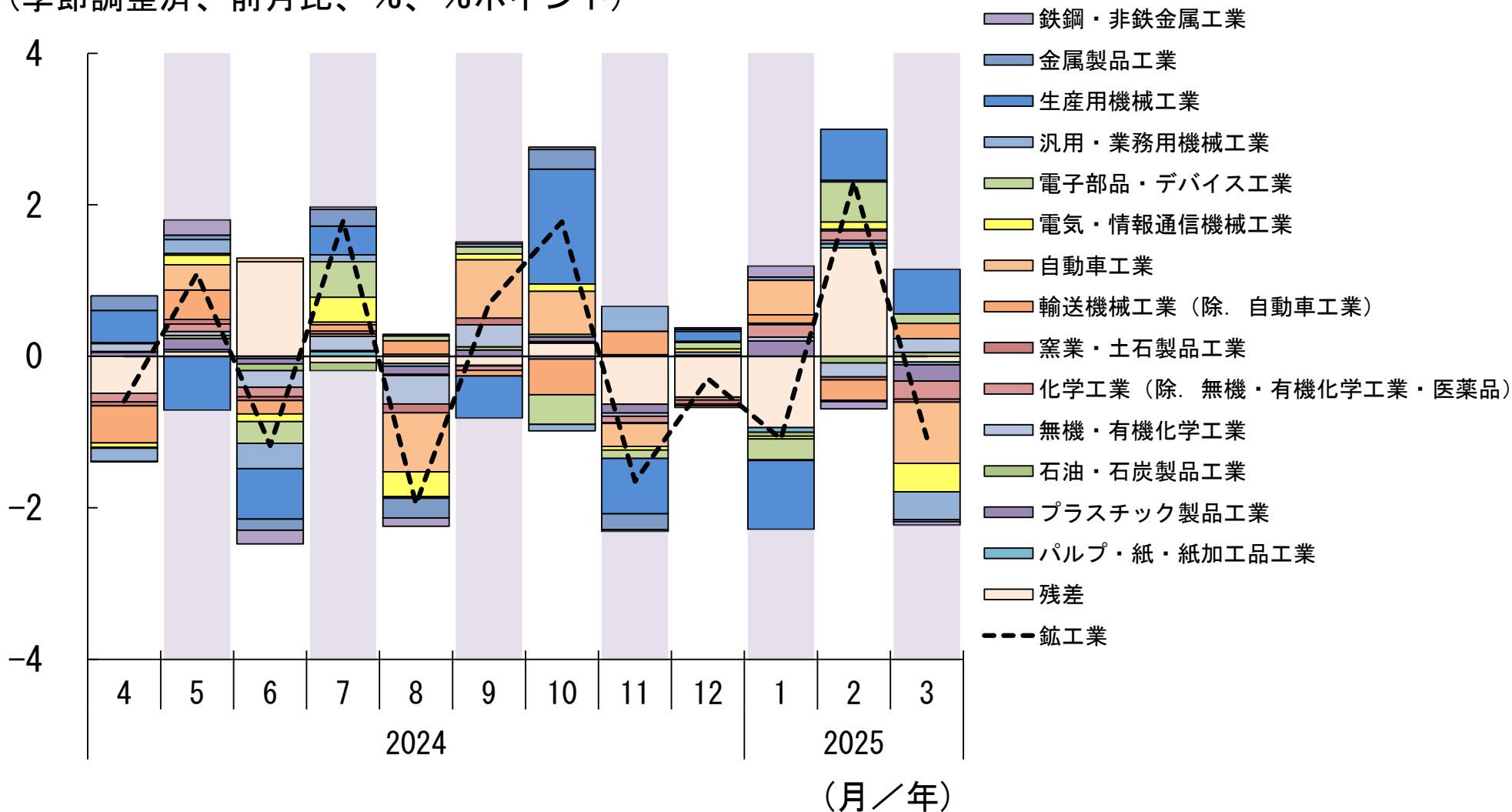
寄与度：生産全体の変動に対して影響を及ぼした、各品目の影響の度合い。

季節調整の関係で、上昇業種と低下業種の合計は、全体の動きと一致しないことがある。

鉱工業生産前月比 業種別の影響度合い

・2025年3月の生産指数は、生産用機械工業などが上昇したものの、自動車工業などが低下したため、前月比-1.1%と低下。

(季節調整済、前月比、%、%ポイント)

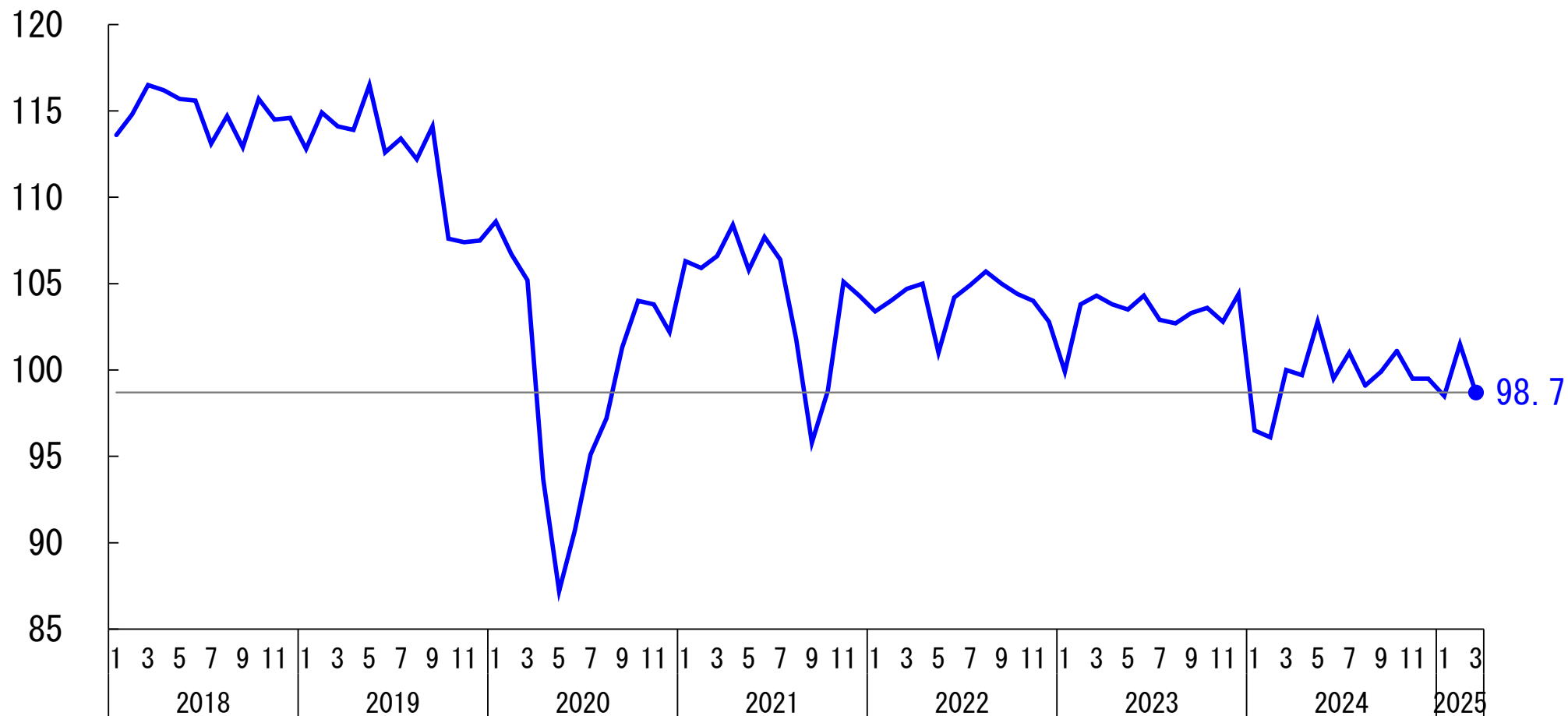


(注) 「残差」は、鉱工業生産全体の変動から主要14業種の影響度を差し引いたものである。

鋁工業出荷指数の動向

・ 2025年3月の鋁工業出荷指数は、98.7(前月比-2.8%)と2か月ぶりの低下。

(2020年=100、季節調整済)



(月／年)

2025年3月の鉱工業出荷指数を大きく動かした品目(業種別)

・ 2025年3月の鉱工業出荷指数は、98.7(前月比-2.8%)と2か月ぶりの低下。

		業種・品目名	前月比	寄与度
【低下方向に寄与】 鉱工業出荷を低下方向へ 引っ張った3業種の中で 低下への影響度が大きい 2品目	1位の業種	自動車工業	-7.0%	-1.23%pt
	品目	普通乗用車	-5.6%	-0.45%pt
		小型乗用車	-21.2%	-0.23%pt
	2位の業種	電気・情報通信機械工業	-6.2%	-0.49%pt
	品目	リチウムイオン蓄電池	-17.2%	-0.15%pt
		開閉制御装置	-12.5%	-0.05%pt
	3位の業種	鉄鋼・非鉄金属工業	-4.8%	-0.41%pt
	品目	普通鋼鋼帯	-11.6%	-0.09%pt
		電気金	-15.2%	-0.07%pt
【上昇方向に寄与】 鉱工業出荷を上昇方向へ 引っ張った3業種の中で 上昇への影響度が大きい 2品目	1位の業種	生産用機械工業	2.5%	0.19%pt
	品目	半導体製造装置	4.4%	0.12%pt
		繊維機械	51.5%	0.11%pt
	2位の業種	石油・石炭製品工業	0.3%	0.01%pt
	品目	重油	13.0%	0.05%pt
		ナフサ	6.5%	0.03%pt
	3位の業種	—	—	—
	品目			

※秘匿の関係で寄与度を表記できない品目を除いた中で、影響度の大きい品目を記載している。

寄与度： 生産全体の変動に対して影響を及ぼした、各品目の影響の度合い。

季節調整の関係で、上昇業種と低下業種の合計は、全体の動きと一致しないことがある。

2025年3月の鉱工業出荷指数を大きく動かした品目(財別)

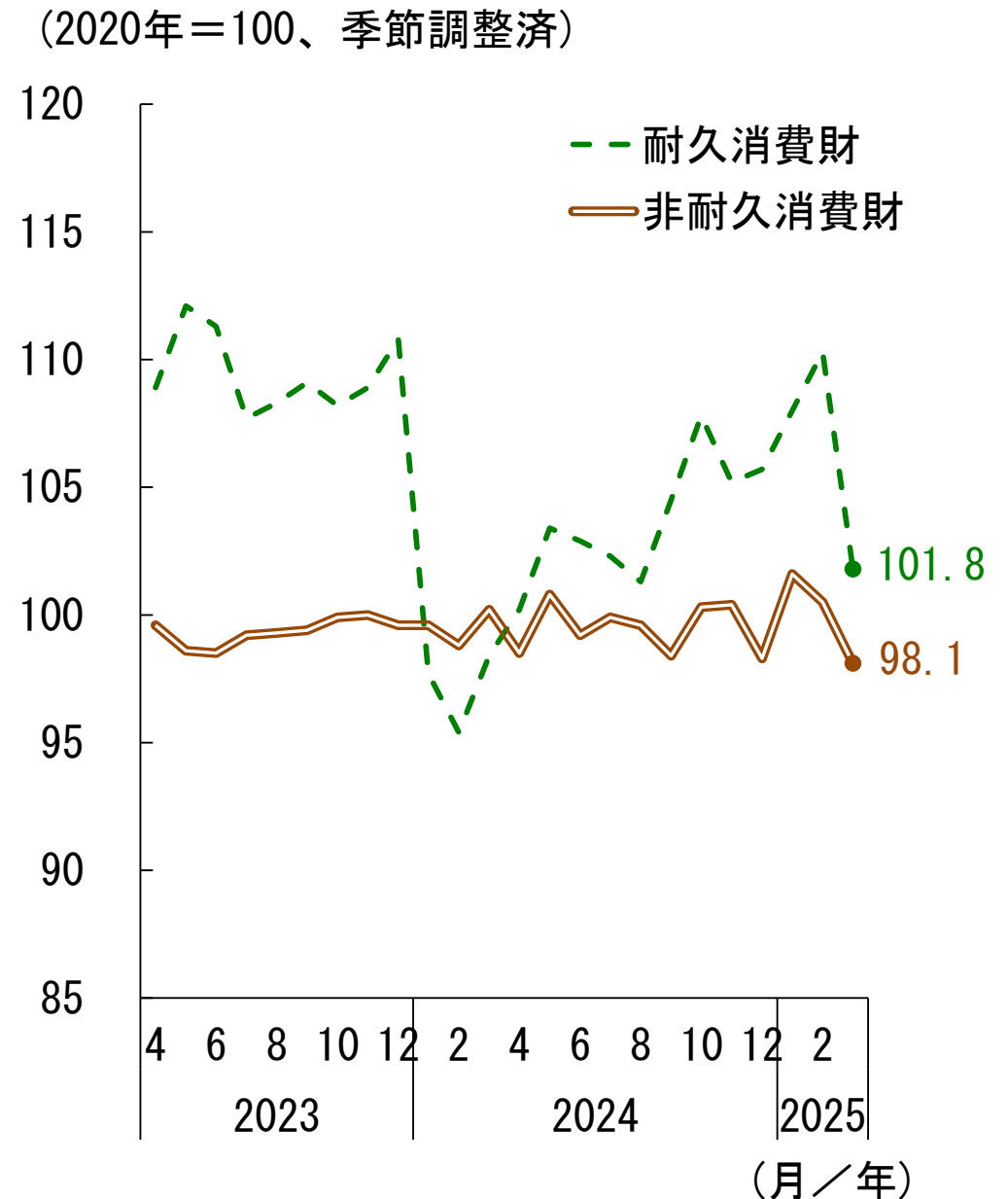
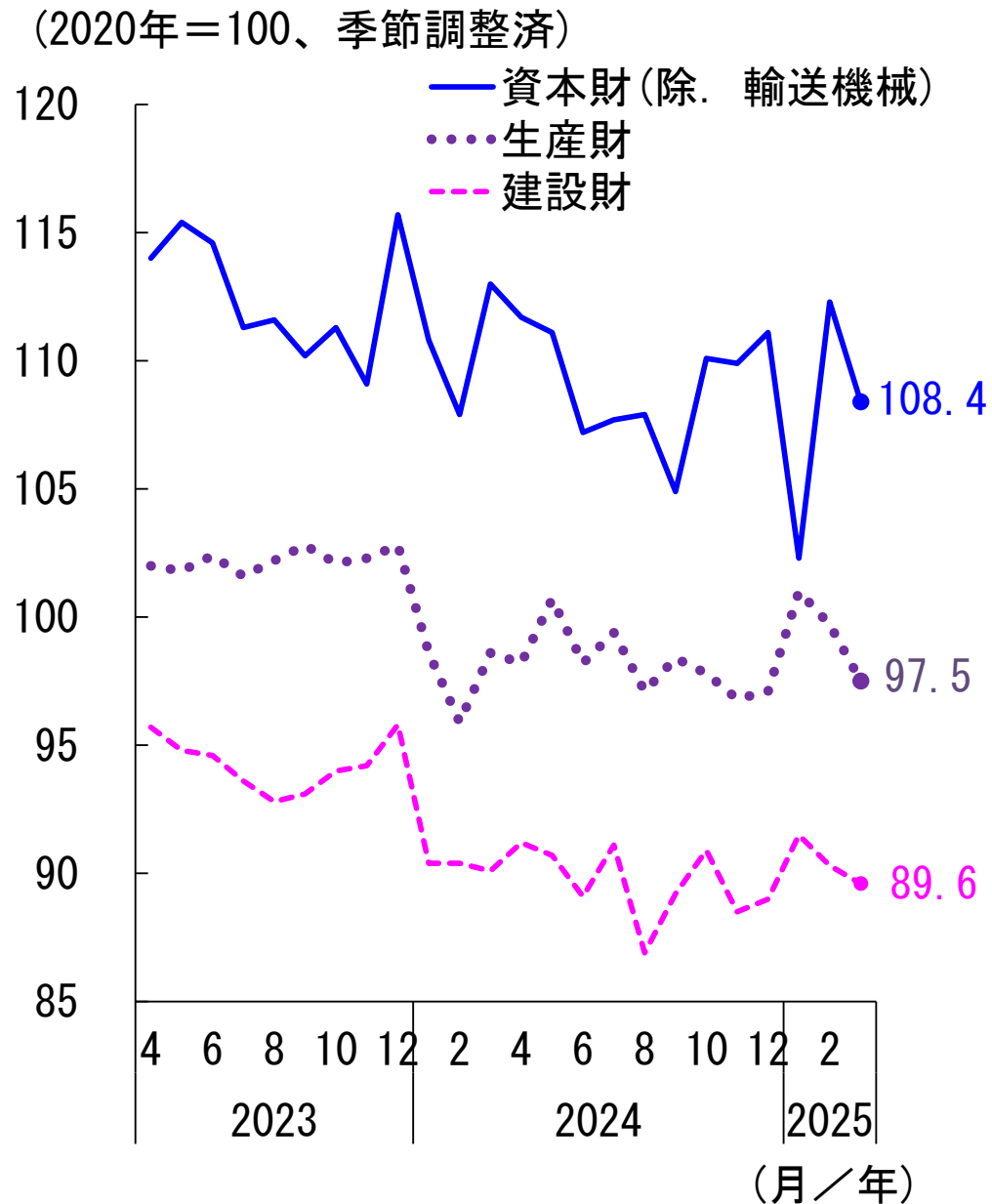
	解説	品目名	前月比	寄与度
生産財	原材料として投入される製品	生産財	-2.2%	-1.09%pt
		駆動伝導・操縦装置部品	-8.1%	-0.17%pt
		自動車用エンジン	-11.2%	-0.15%pt
耐久消費財	テレビや電気冷蔵庫など 家計で購入される製品	耐久消費財	-7.7%	-0.78%pt
		普通乗用車	-5.6%	-0.31%pt
		小型乗用車	-21.2%	-0.23%pt
資本財 (除. 輸送機械)	クレーンや金属工作機械など 設備投資に向けられる製品	資本財(除. 輸送機械)	-3.5%	-0.45%pt
		コンベヤ	-50.0%	-0.15%pt
		マシニングセンタ	-19.1%	-0.09%pt
非耐久消費財	食料品や衣料品など 家計で購入される製品	非耐久消費財	-2.4%	-0.41%pt
		乳液・化粧水類	-6.0%	-0.04%pt
		頭髮用化粧品	-8.7%	-0.03%pt
建設財	鉄骨やセメントなど 建設投資に向けられる製品	建設財	-0.8%	-0.04%pt
		プラスチック製建材	-8.0%	-0.01%pt
		セメント	-2.5%	-0.01%pt

※秘匿の関係で寄与度を表記できない品目を除いた中で、影響度の大きい品目を記載している。

寄与度： 生産全体の変動に対して影響を及ぼした、各品目の影響の度合い。

季節調整の関係で、上昇業種と低下業種の合計は、全体の動きと一致しないことがある。

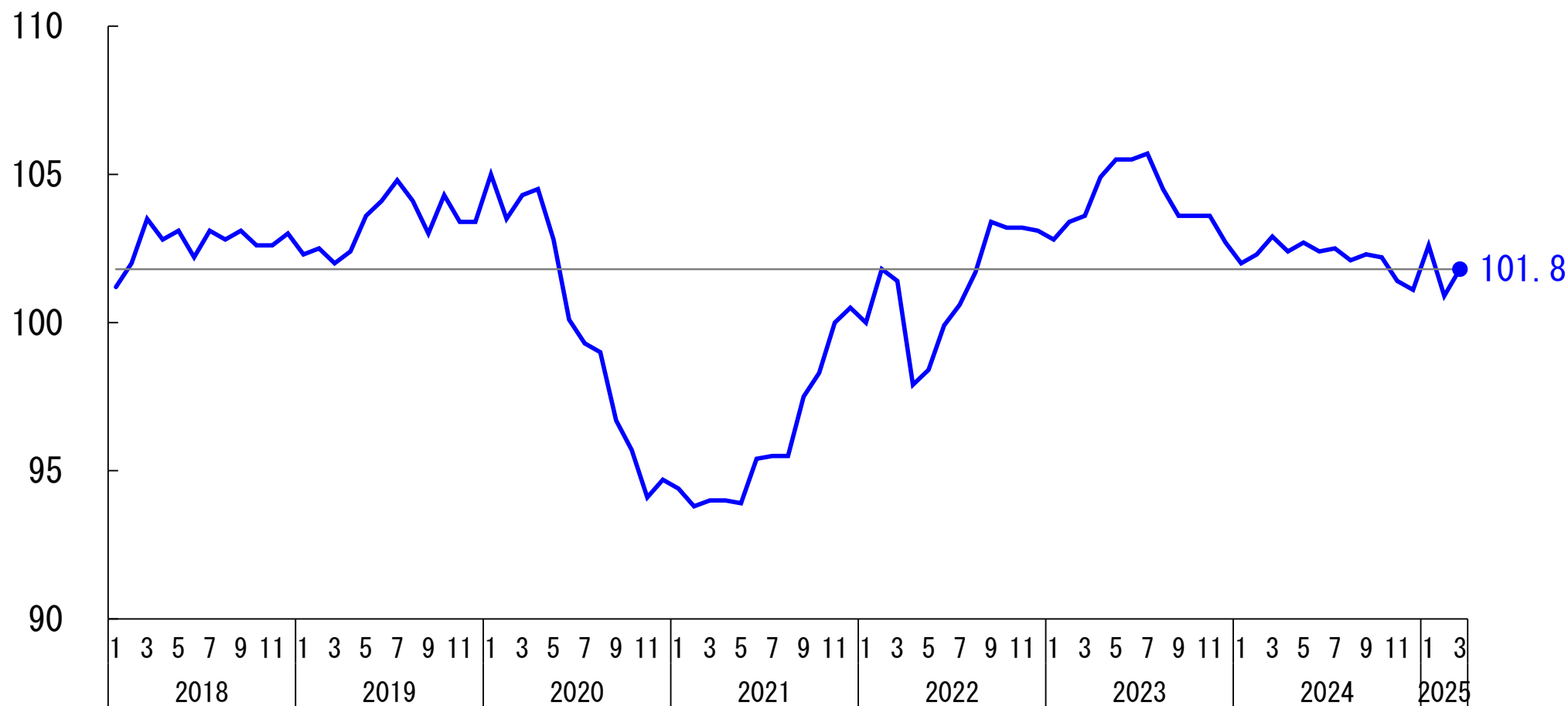
財別出荷指数の動向



鋁工業在庫指数の動向

・ 2025年3月の鋁工業在庫指数は、101.8(前月比0.9%)と2か月ぶりの上昇。

(2020年=100、季節調整済)



(月／年)

2025年3月の鉱工業在庫指数を大きく動かした品目(業種別)

・ 2025年3月の鉱工業在庫指数は、101.8(前月比0.9%)と2か月ぶりの上昇。

		業種・品目名	前月比	寄与度
【上昇方向に寄与】 鉱工業在庫を上昇方向へ 引っ張った3業種の中で 上昇への影響度が大きい 2品目	1位の業種	鉄鋼・非鉄金属工業	3.5%	0.52%pt
	品目	普通鋼鋼帯	15.2%	0.11%pt
		特殊鋼熱間圧延鋼材	7.6%	0.09%pt
	2位の業種	無機・有機化学工業	4.4%	0.47%pt
	品目	合成ゴム	10.2%	0.21%pt
		フェノール	42.2%	0.06%pt
	3位の業種	電気・情報通信機械工業	4.2%	0.30%pt
	品目	リチウムイオン蓄電池	6.3%	0.10%pt
		陸上移動通信装置	10.4%	0.04%pt
【低下方向に寄与】 鉱工業在庫を低下方向へ 引っ張った3業種の中で 低下への影響度が大きい 2品目	1位の業種	自動車工業	-6.7%	-0.49%pt
	品目	普通乗用車	-6.4%	-0.26%pt
		普通トラック	-4.7%	-0.06%pt
	2位の業種	金属製品工業	-1.9%	-0.08%pt
	品目	石油ストーブ	-12.2%	-0.05%pt
		ガス湯沸器	-11.0%	-0.03%pt
	3位の業種	生産用機械工業	-0.6%	-0.05%pt
	品目	超硬工具	-5.1%	-0.05%pt
		電動工具	-4.2%	-0.02%pt

※秘匿の関係で寄与度を表記できない品目を除いた中で、影響度の大きい品目を記載している。

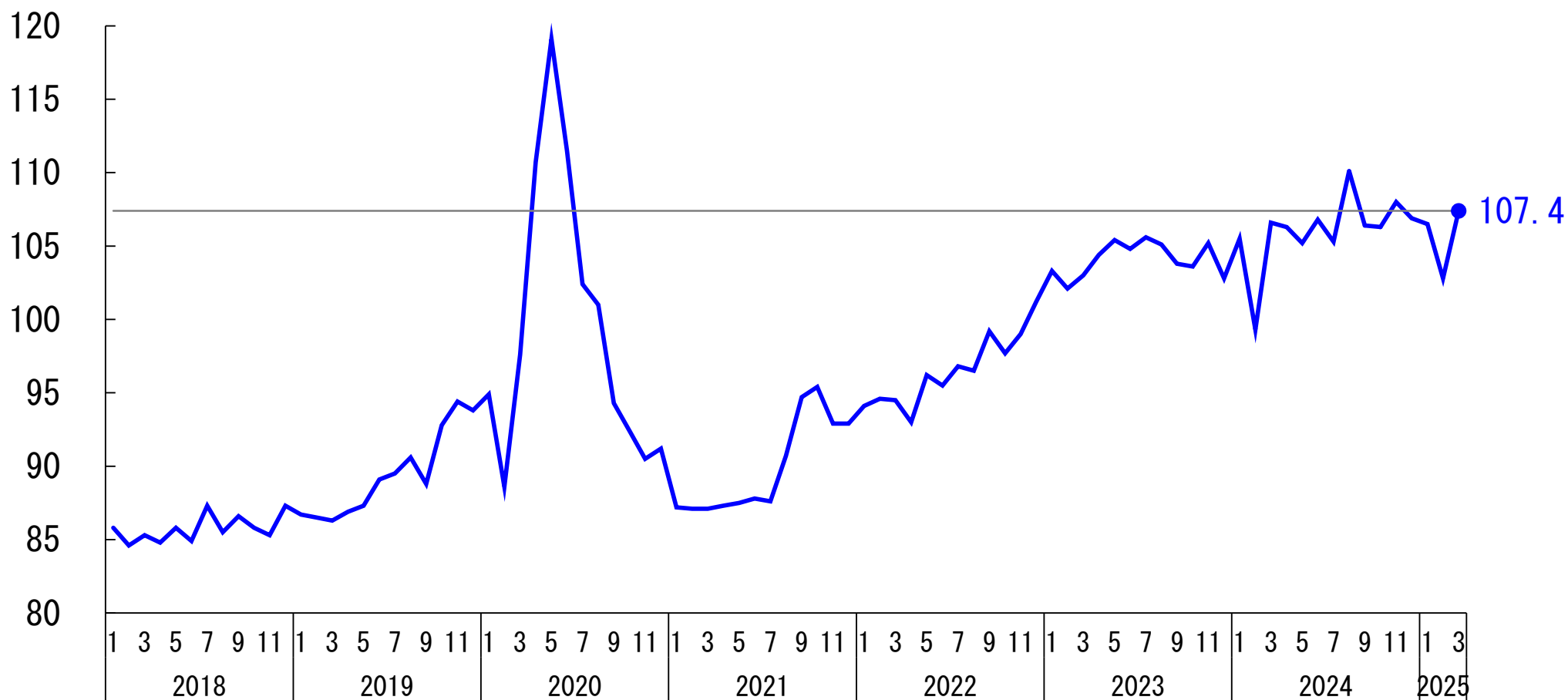
寄与度： 生産全体の変動に対して影響を及ぼした、各品目の影響の度合い。

季節調整の関係で、上昇業種と低下業種の合計は、全体の動きと一致しないことがある。

鋁工業在庫率指数の動向

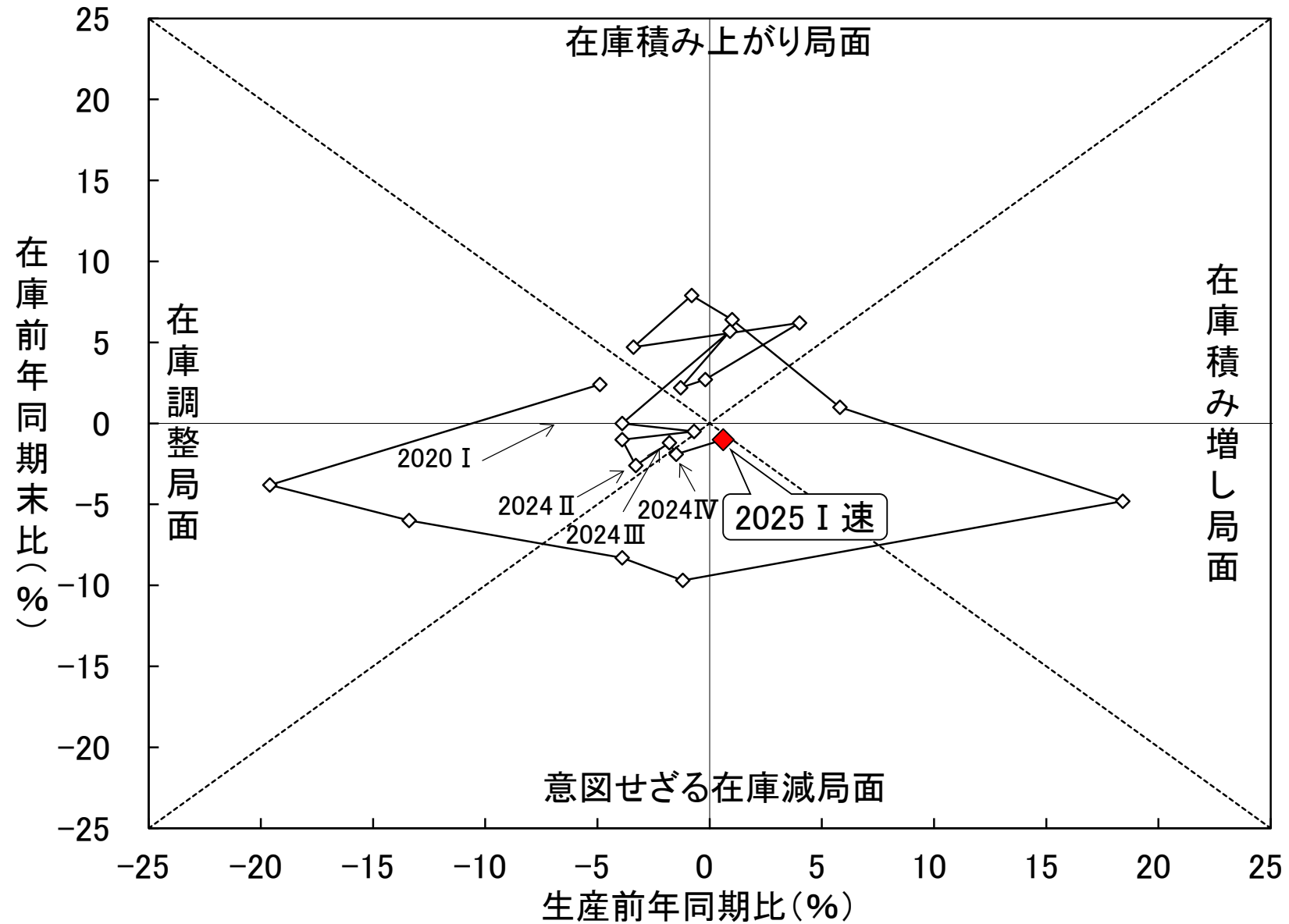
・ 2025年3月の鋁工業在庫率指数は、107.4(前月比4.5%)と4か月ぶりの上昇。

(2020年=100、季節調整済)



(月／年)

鋁工業の在庫循環図



製造工業生産予測指数 時系列

<製造工業>

2020年 = 100

年 月		季節調整済指数			前月比 (%)			実現率 (%)	予測修正率 (%)
		前月実績	当月見込み	翌月見込み	前月実績	当月見込み	翌月見込み		
2024年	2月調査	100.5	101.5	103.7	▲ 6.5	1.0	2.2	▲ 4.6	▲ 2.5
	3月調査	98.2	102.3	105.6	▲ 2.3	4.2	3.2	▲ 3.3	▲ 1.4
	4月調査	101.8	105.4	109.3	3.7	3.5	3.7	▲ 0.5	▲ 0.2
	5月調査	102.7	109.1	103.9	0.9	6.2	▲ 4.8	▲ 2.6	▲ 0.2
	6月調査	107.8	103.3	105.4	5.0	▲ 4.2	2.0	▲ 1.2	▲ 0.6
	7月調査	101.2	105.8	107.9	▲ 6.1	4.5	2.0	▲ 2.0	0.4
	8月調査	104.3	107.7	103.4	3.1	3.3	▲ 4.0	▲ 1.4	▲ 0.2
	9月調査	101.7	103.0	107.2	▲ 2.5	1.3	4.1	▲ 5.6	▲ 0.4
	10月調査	101.7	107.7	105.0	0.0	5.9	▲ 2.5	▲ 1.3	0.5
	11月調査	105.1	103.9	103.7	3.3	▲ 1.1	▲ 0.2	▲ 2.4	▲ 1.0
	12月調査	101.9	104.1	109.6	▲ 3.0	2.2	5.3	▲ 1.9	0.4
2025年	1月調査	103.6	108.7	107.8	1.7	4.9	▲ 0.8	▲ 0.5	▲ 0.8
	2月調査	105.3	108.1	105.5	1.6	2.7	▲ 2.4	▲ 3.1	0.3
	3月調査	106.0	106.6	106.7	0.7	0.6	0.1	▲ 1.9	1.0
	4月調査	104.8	106.2	110.3	▲ 1.1	1.3	3.9	▲ 1.7	▲ 0.5

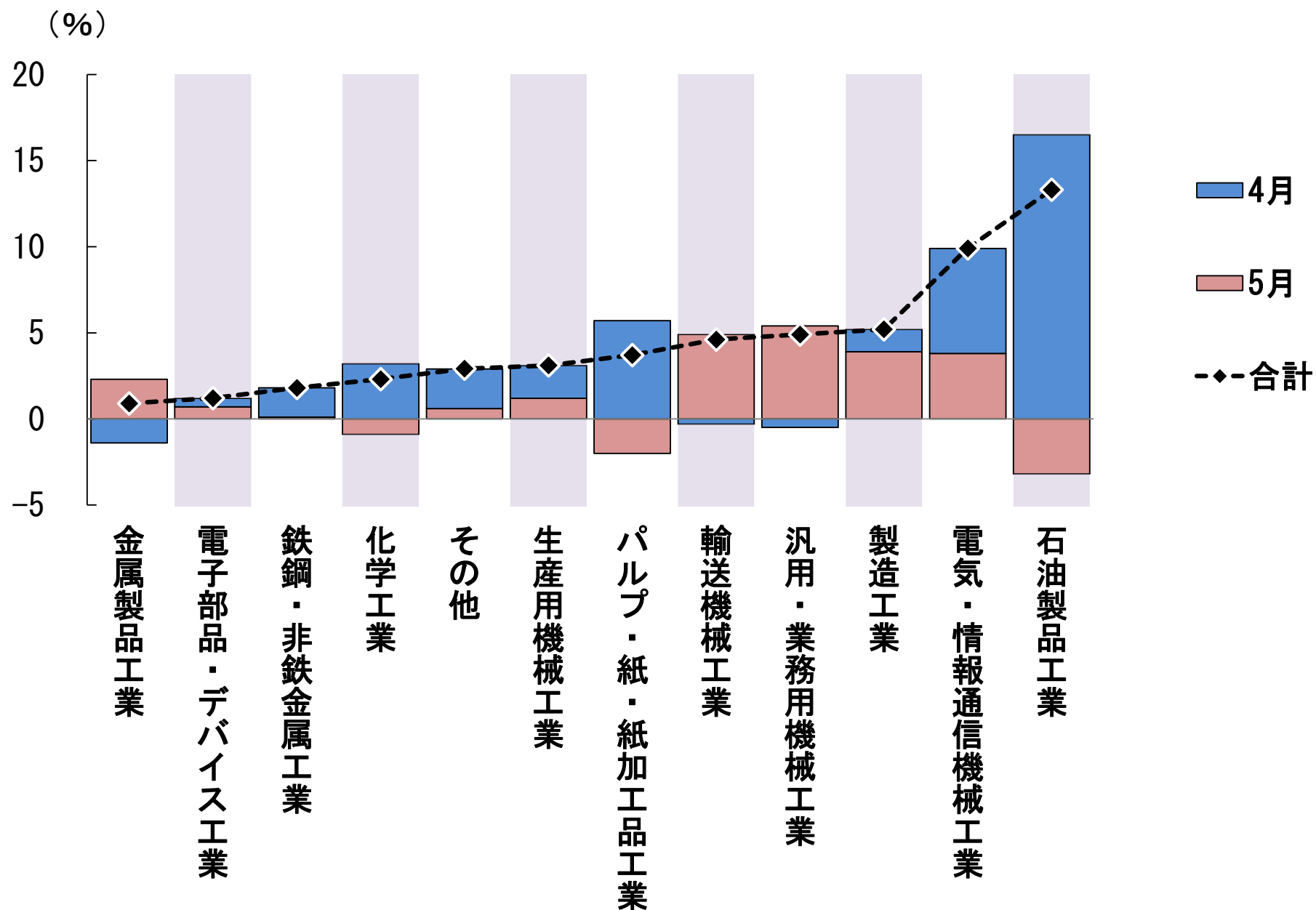
製造工業生産予測指数（当月、翌月の生産伸び率）

	3月調査 (前回)		4月調査 (今回)	4月調査 補正值
4月見込み	0.1 %	⇒	1.3 %	-2.5 % (-4.1%~-0.8%)
5月見込み	—		3.9 %	—

（参考） 前回調査の結果

	3月予測調査	3月補正值	実際の結果 鉱工業生産指数
3月前月比	0.6 %	0.6 % (0.0%~1.3%)	-1.1 %

2か月の生産予測伸び率（製造工業生産予測指数）



2025年4月生産計画の寄与順位表

上昇寄与業種		低下寄与業種		横ばいの業種	
業種名	計画前月比	業種名	計画前月比	業種名	計画前月比
電気・情報通信機械工業	6.1%	金属製品工業	-1.4%	—	—
化学工業	3.2%	輸送機械工業	-0.3%		
石油製品工業	16.5%	汎用・業務用機械工業	-0.5%		
生産用機械工業	1.9%				
その他	2.3%				
パルプ・紙・紙加工品工業	5.7%				
鉄鋼・非鉄金属工業	1.7%				
電子部品・デバイス工業	0.5%				

(注) 業種の並びは、寄与（影響度）が大きい順。

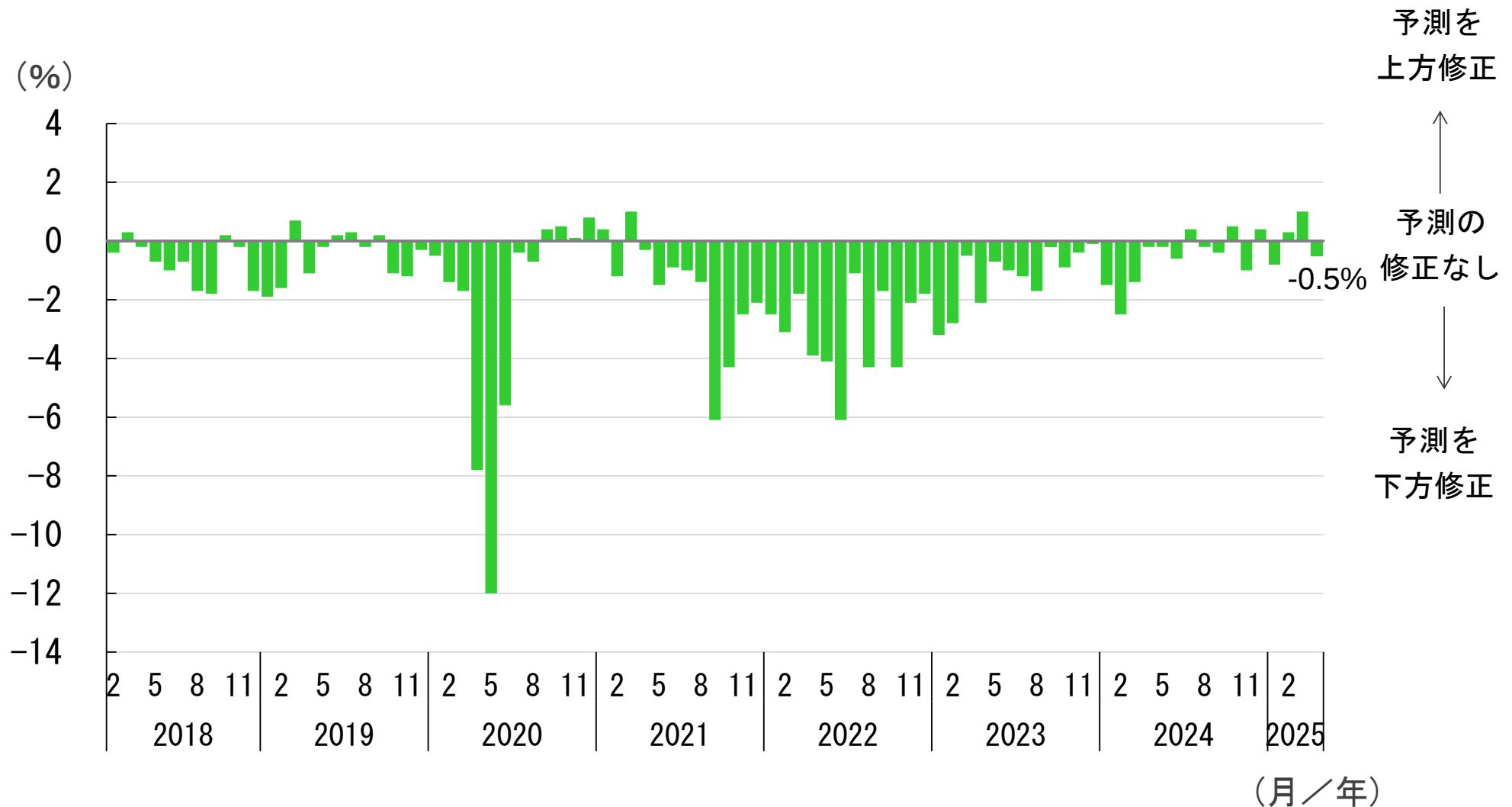
2025年5月生産計画の寄与順位表

上昇寄与業種		低下寄与業種		横ばいの業種	
業種名	計画前月比	業種名	計画前月比	業種名	計画前月比
輸送機械工業	4.9%	化学工業	-0.9%	—	—
電気・情報通信機械工業	3.8%	石油製品工業	-3.2%		
汎用・業務用機械工業	5.4%	パルプ・紙・紙加工品工業	-2.0%		
生産用機械工業	1.2%				
金属製品工業	2.3%				
電子部品・デバイス工業	0.7%				
その他	0.6%				
鉄鋼・非鉄金属工業	0.1%				

(注) 業種の並びは、寄与（影響度）が大きい順。

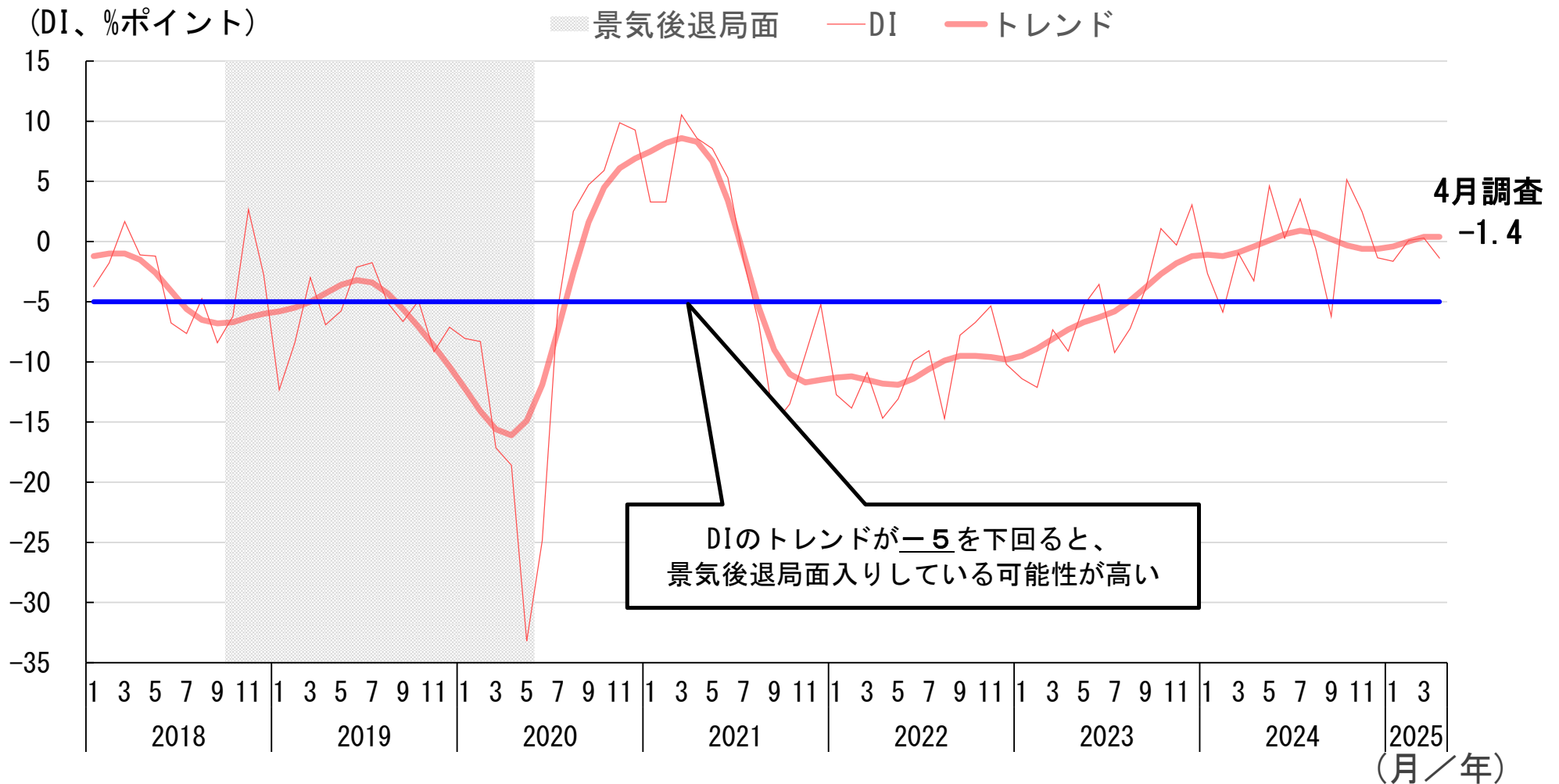
予測修正率の推移

- ・ 当月の生産計画が前回の生産計画からどの程度修正されたかを示したものが予測修正率となる。
- ・ 今回の調査では、予測修正率は-0.5%と低下。
- ・ 生産計画は3か月ぶりの下方修正となった。



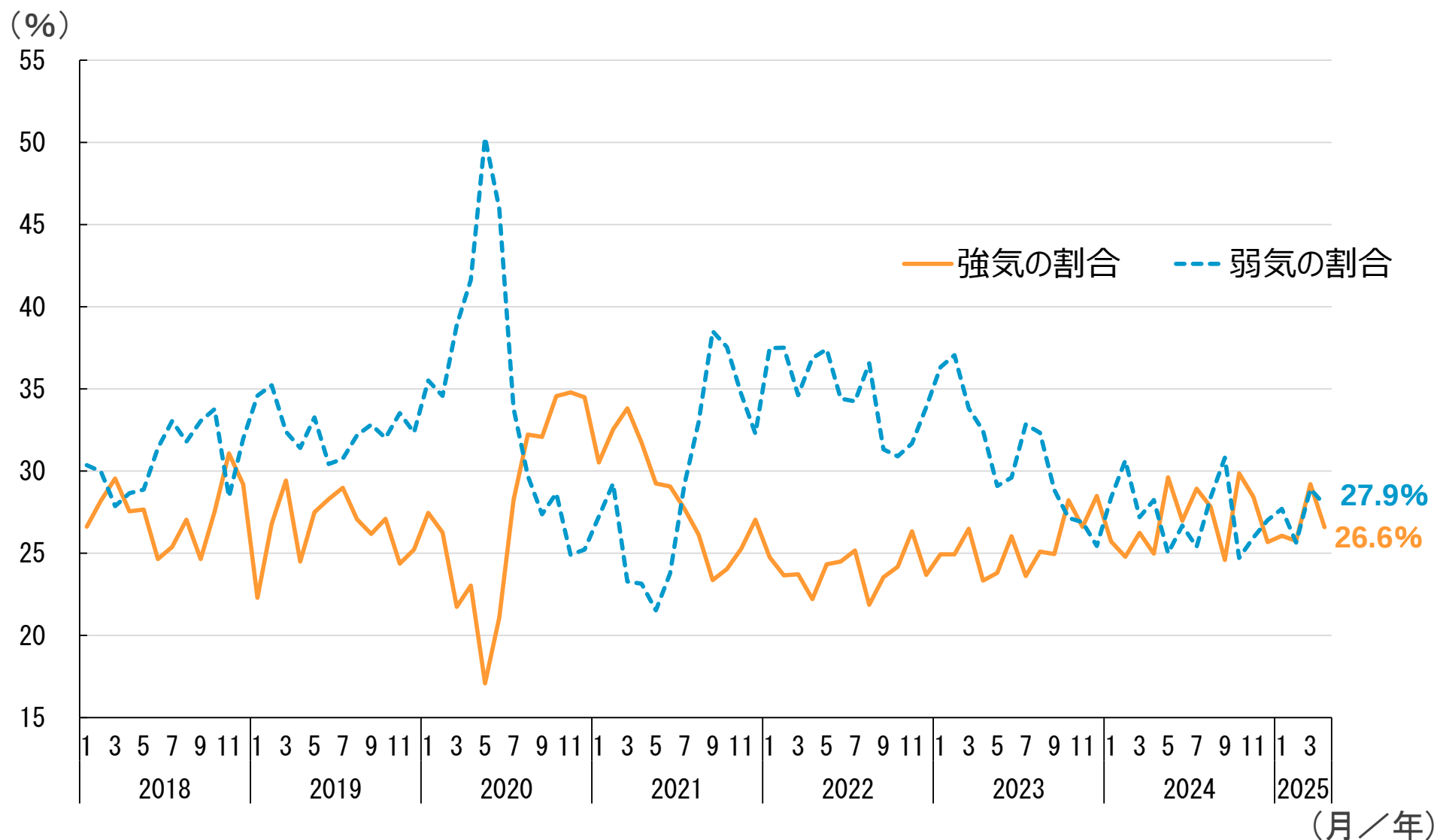
企業の生産活動に対する姿勢（生産活動マインド指標（DI））

- ・生産計画を上方修正している企業の割合から下方修正している企業の割合を差し引くことで企業の生産活動マインドを指標（DI）化。
- ・DIのトレンドが－5を下回ると景気後退局面入りの可能性が高い。
- ・4月調査結果のDIは、-1.4（前月の0.3から低下）、トレンドは0.4と－5を上回る水準。



強気と弱気の比率の変化

・4月調査結果のDIの内訳をみると、強気が26.6%、弱気が27.9%となっている。3月と比べて、強気・弱気の割合はともに減少した。



2025年1-3月期(速報)各指数の状況

生産・出荷・在庫・在庫率指数

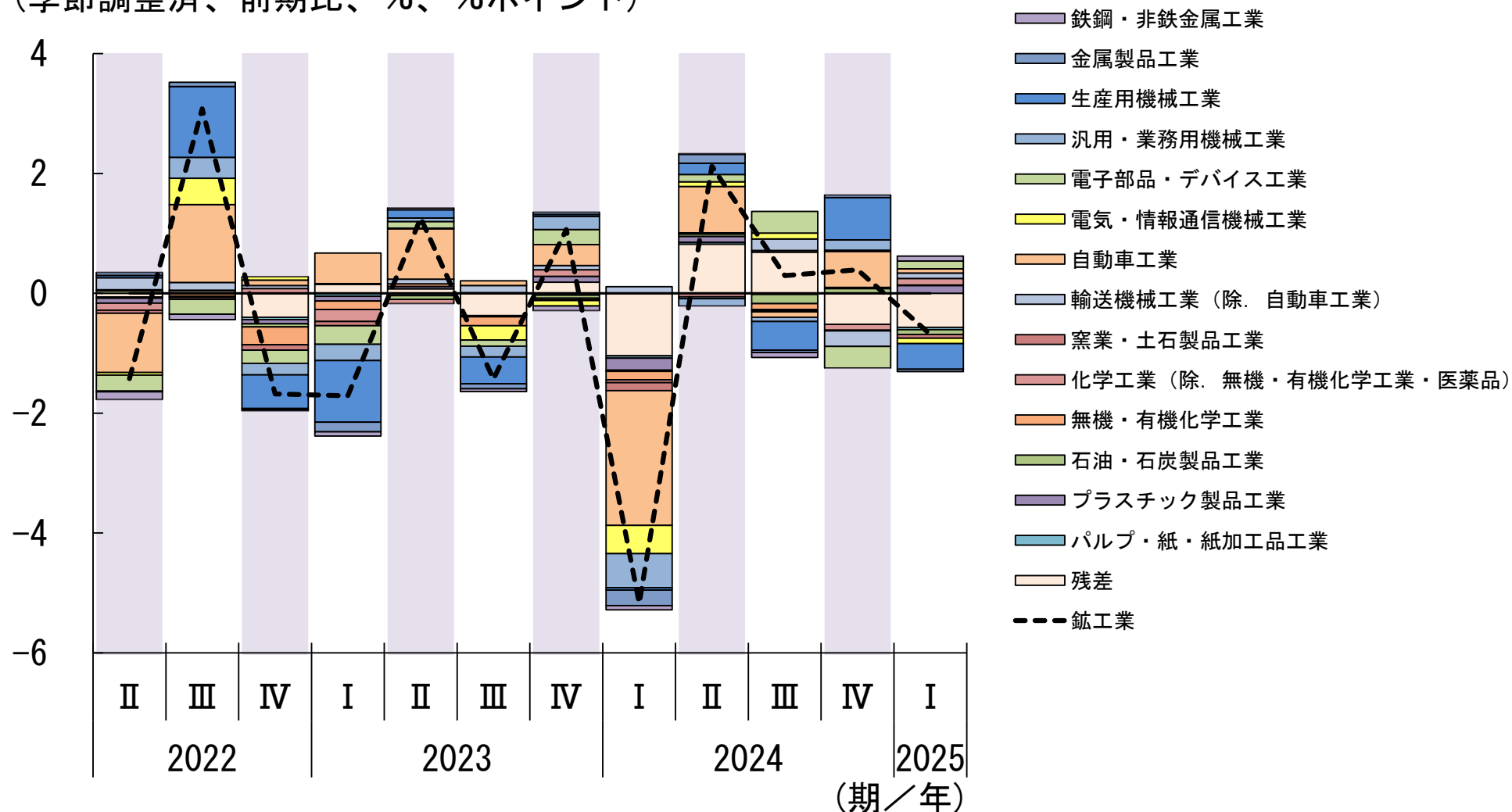
四半期	生 産	出 荷	在 庫	在 庫 率
季調済指数	101.1	99.6	101.8	105.6
前期比	-0.7%	-0.4%	0.7%	-1.4%
指数水準	2024Ⅱ 101.1以来 (超)2024Ⅰ 99.0以来 ①2020Ⅱ 90.7 ②2020Ⅲ 97.7 ③2024Ⅰ 99.0	2024Ⅰ 97.5以来 ①2020Ⅱ 90.5 ②2024Ⅰ 97.5 ③2020Ⅲ 97.9	2024Ⅲ 102.3以来 Ⅰ2023Ⅱ 105.5 Ⅱ2020Ⅰ 104.3 Ⅲ2019Ⅱ 104.1	2024Ⅰ 103.8以来 ①2018Ⅰ,Ⅱ 85.2 ②2018Ⅳ 86.1 ③2018Ⅲ,2019Ⅰ 86.5
前期比の動き	4期ぶり－ (2024Ⅰ以来)	2期ぶり－ (2024Ⅲ以来)	4期ぶり＋ (2024Ⅰ以来)	2期連続－ (2024Ⅳ～当期)
前期比幅	2024Ⅰ -5.2%以来 ①2020Ⅱ -15.1% ②2024Ⅰ -5.2% ③2019Ⅳ -4.1%	2024Ⅲ -0.7%以来 ①2020Ⅱ -15.3% ②2024Ⅰ -5.9% ③2021Ⅲ -5.6%	2023Ⅱ 1.8%以来 Ⅰ2022Ⅲ 3.5% Ⅱ2021Ⅳ 3.1% Ⅲ2021Ⅲ 2.2%	2021Ⅰ -4.7%以来 ①2020Ⅲ -12.8% ②2020Ⅳ -7.9% ③2021Ⅰ -4.7%
前年同期比(原指数)	0.6%(100.5)	0.7%(99.4)	-1.0%(98.6)	0.7%(107.1)
前年同期比の動き	7期ぶり＋ (2023Ⅱ以来)	7期ぶり＋ (2023Ⅱ以来)	6期連続－ (2023Ⅳ～当期)	14期連続＋ (2021Ⅳ～当期)
前年同期比幅	2023Ⅱ 0.9%以来 Ⅰ2021Ⅱ 18.4% Ⅱ2021Ⅲ 5.8% Ⅲ2022Ⅲ 4.0%	2023Ⅱ 0.9%以来 Ⅰ2021Ⅱ 18.3% Ⅱ2022Ⅲ 4.1% Ⅲ2021Ⅲ 3.5%	2024Ⅳ -1.9%以来 ①2021Ⅰ -9.7% ②2020Ⅳ -8.3% ③2020Ⅲ -6.0%	2024Ⅳ 1.9%以来 Ⅰ2020Ⅱ 28.7% Ⅱ2020Ⅲ 11.2% Ⅲ2023Ⅱ 10.4%

1) Ⅰ～Ⅲは2020年基準における最大値から上位3位まで、①～③は最小値から下位3位までの数値

鉱工業生産指数前期比 業種別の影響度合い

・2025年1-3月期の生産指数は、電子部品・デバイス工業などが上昇したものの、生産用機械工業などが低下したため、前期比-0.7%と低下。

(季節調整済、前期比、%、%ポイント)



(注)「残差」は、鉱工業生産全体の変動から主要14業種の影響度を差し引いたものである。

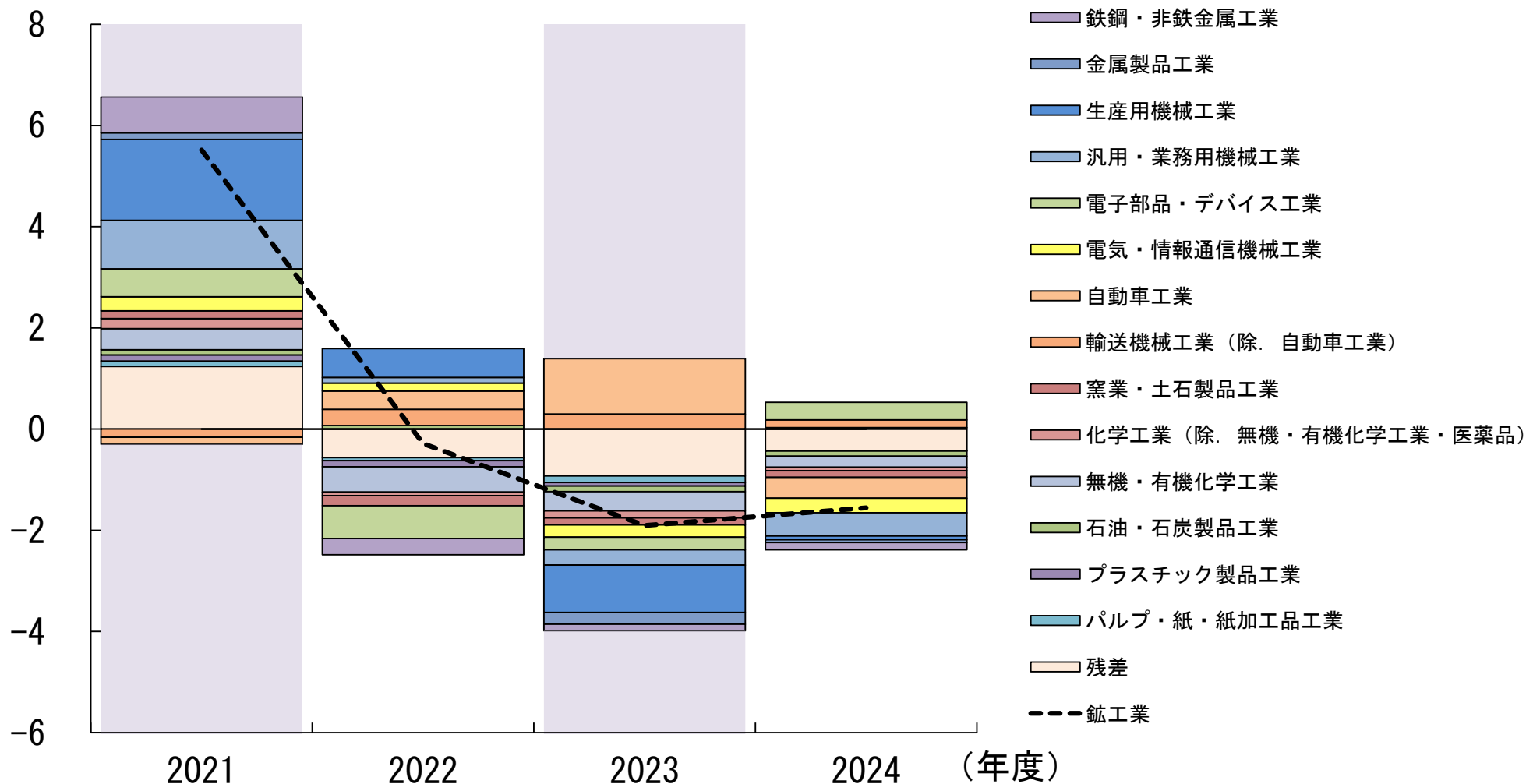
2024年度(速報)各指数の状況
生産・出荷・在庫・在庫率指数

年度	生産	出荷	在庫	在庫率
原指数	101.3	100.0	98.6	106.3
前年度比	-1.6%	-2.0%	-1.0%	1.4%
指数水準	2020 99.7以来 ①2020 99.7 ②2024 101.3 ③2023 102.9	2020 99.7以来 ①2020 99.7 ②2024 100.0 ③2023 102.0	2021 98.4以来 ①2020 91.2 ②2021 98.4 ③2018, 2024 98.6	2020年基準最高水準 I 2024 106.3 II 2023 104.8 III 2022 98.6
前年度比の動き	3年度連続－ (2022～当年度)	3年度連続－ (2022～当年度)	2年度連続－ (2023～当年度)	3年度連続＋ (2022～当年度)
前年度比幅	2023 -1.9%以来 ①2020 -9.5% ②2019 -3.5% ③2023 -1.9%	2020 -9.7%以来 ①2020 -9.7% ②2019 -3.5% ③2024 -2.0%	2023 -1.0%以来 (超)2020 -9.7%以来 ①2020 -9.7% ②2023, 2024 -1.0% —	2023 6.3%以来 I 2022 7.5% II 2020 7.0% III 2019 6.8%

鉱工業生産指数前年度比 業種別の影響度合い

・2024年度の生産指数は、電子部品・デバイス工業などが上昇したものの、汎用・業務用機械工業などが低下したため、前年度比-1.6%と低下。

(前年度比、%、%ポイント)



(注) 「残差」は、鉱工業生産全体の変動から主要14業種の影響度を差し引いたものである。